

クラシノコアゲ応援団県内統一街頭行動 第24弾 (11/26)

働く者の立場から働き方改革の実現と、生活者の環境改善を求める 「Action36」、「36協定」のチェックを社会全体に理解と浸透を図る

～西日本豪雨災害支援カンパ、総額70万円強の浄財が寄せられ、連合本部を通じ被災地へ～

連合福島の「クラシノコアゲ応援団街頭行動」は、この一年間、定期的に継続し、県中央行動（県北地域連合と共同）を始め県内各地域連合単位においても、統一開催をセットするなど、連合福島としての社会性、影響力を自覚した取り組みを進めてきた。

第24弾は、11月26日（月）に、福島駅東口をはじめ県内6カ所において、構成組織より212名が参加し、今次2018春闘における組織労働者の結果を「交渉の場が無い未組織労働者や非正規労働者の処遇改善、底上げ・底支え」につなげ、さらに「福島県最低賃金大幅引き上げ」、「労働法制改悪阻止」、「長時間労働是正、ディーセントワーク実現」等の問題・課題などを、すべての働く者や市民に呼びかけ、世論喚起・社会波及を意識し、顔が見える行動として取り組んだ。



福島駅東口での街頭行動



応援団長として挨拶する
今野泰連合福島会長

福島駅東口での街頭行動は、応援団長である連合福島今野泰会長は挨拶で『日本は少子高齢・人口減少社会に突入し、労働力不足が課題となっており、その改善・解消策として、今国会で出入国管理法改正案が審議されている。しかし、政治と金の問題や閣僚の資質とその任命責任が取り沙汰され、具体的な論議は尽くされず強行採決を画策し、働き方改革関連法同様に核心部分は省令で定めようとするなど、国民の理解を得る努力は感じられず曖昧な態度に終始している。そして、アベノミクスの失政を認めず、民主党政権時代を引き合いに出すなど論点をずらし続け、多くの国民が政治に失望している。連合クラシノコアゲ応援団は、社会の格差是正、何より、働く者の立場から働き方改革の実現と生活者の環境改善、そして老後の安定した暮らしを求め続けている』と訴えた。さらに今野会長は、非正規労働者の処遇改善と格差解消をめざした県内最低賃金の引上げにおいて、多くの署名の協力によって全国中央値を超える772円に引き上げることができたことへの感謝を述べた。加えて長時間労働規制を目的とした労働基準法が改正されその運用が来年4月に迫っている事を踏まえ、連合は法改正の実効性を高めることが重要であることから、時間外労働に関するルールを定めた労働基準法36条にちなんで「Action36」を掲げて、社会全体への理解と浸透を図るために「36協定」のチェックを自ら行う事を呼びかけ、不明な点があれば連合福島「なんでも労働相談」の利用・活用を呼びかけた。（裏に続く）

西日本豪災害への支援については、街頭カンパや連合福島の各種会議等で呼びかけ、70万円強の浄財が寄せられました。連合福島はこのカンパ金を、連合本部を通じて被災地へ届けました。改めてご協力をいただいた多くの皆様に深く感謝を申し上げます。

(表より続く)

【県北地域連合】 JR福島駅東口「エスタビル前」 3地区から71名



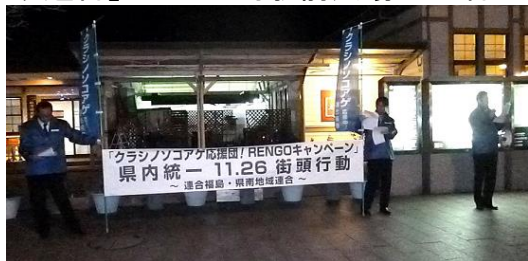
左から、紺野淳県北地域担当部長、石原洋三郎福島市議会議員、成田威文福島地区連合会長、高橋誉二本松・安達地区連合議長、高橋誠一伊達地区連合議長

【県中地域連合】 JR郡山駅西口広場 4地区から57名



左から、富樫賢太郎須賀川地区連合事務局長、安藤和彦県中地域連合議長、加藤光一連合福島事務局長、坂路芳知連合福島副会長、鈴木重一須賀川地区連合議長、渡辺孝男石川地区連合議長、白岩進一郎田村地区連合議長、永沼直樹石川地区連合事務局長

【県南地域連合】 JR白河駅前広場 8名



JR白河駅前での街頭行動

【会津地域連合】 会津若松市神明通り 35名



左から、神明神社前での街頭行動、石井陽一会津地域連合議長、生亀勝行連合福島副会長



【いわき地区連合】 JRいわき郡山駅前 30名



左から、JRいわき駅前での街頭行動、新妻浩いわき地区連合議長代行、ガンパロー三唱発声の稲川昌浩いわき地区連合副議長、市民の皆さんにティッシュを配りました



【相双地域連合】 南相馬市・南町ヨークベニマル前 11名



ヨークベニマル前での街頭行動